

健康すいた21（第2次）中間評価管理シート

分野
5

歯と口腔の健康

- ・健康増進計画【分野5】
- ・食育推進計画【分野3】
- ・歯と口腔の健康づくり推進計画

目標	いつまでも自分の歯で噛むことできる									
	◆ 歯の大切さと自分にあった口腔ケアの方法を知っている。 ◆ 噛むことの効果を知り、よく噛んで食べることを意識する。									
進捗状況	評価指標			現状値 平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	中間評価 平成29年度 (2017年度)		目標値 平成32年度 (2020年度)	評価担当室 課
	①	3歳児歯科健診におけるむし歯のない幼児の割合		85.7%	85.1%	84.9%	87.8%	B	90.2%以上	保健センター
	②	12歳（中学1年生）における永久歯のむし歯経験歯数		0.88本	0.89本	0.77本	0.80本	B	0.65本以下	保健給食室
	③	成人歯科健診における進行した歯周病にかかっている人の割合	35～44歳	49.1%	49.8%	54.0%	53.2%	C	40.5%以下	保健センター
			45～54歳	55.7%	54.8%	59.3%	59.1%	C	46.0%以下	
	④	80歳代で20歯以上の自分の歯を有する人の割合		65.8%	68.2%	67.8%	68.6%	B	75.5%以上	
	⑤	歯間部補助清掃用器具の使用者の割合（歯間ブラシもしくはデンタルフロス使用者の割合）	35～44歳	60.8%	61.5%	63.7%	64.4%	B	65.9%以上	
			45～54歳	66.2%	65.9%	67.7%	70.2%	A	70.2%以上	
	⑥	75歳以上で口腔機能の維持向上の方法を知っている人の割合		-	-	10.0%	10.6%	B	11.3%以上	
⑦	食生活においてよく噛むことを重視している人の割合		28.4%	-	-	-	-	39.2%以上	-	
評価	1次評価		B	・歯間部補助清掃用器具の使用者で45～54歳の使用割合が目標に達していた。その他はライフステージごとに関係機関等で取り組みを行っているが、いずれも目標値には達していない。引き継ぎ専門職と連携をとりながら、啓発活動の推進を行っていく。						
取組方向	今後の方向性									